

奄美の魅力を再確認

「簡単に着られる紺」紹介 山中さん

2015年度の奄美大島5高校PTA研修会が4日、奄美市の大島高等学校であった。テーマは「子どもたちに奄美の価値をいかに受け継ぐか」。大島、奄美、大島北、古仁屋、大島養護のPTA役員ら約90人が出席し、講演などを通じて奄美の魅力を再確認した。



校

奄美大島5高校PTA研修会

講師は奄美市の酒井一徳さん(Shall we Design代表理事)と奄美観光大使の山中順子さん。酒井さんは「島に住みながら魅力的な仕事ができるということを実証していくのが僕ら世代の使命」と語り、建築家としての活動や法人立ち上げの経緯を紹介した。参加者たちに「Uターンすることを『引き揚げる』とい

数分で着られる大島紺を紹介した
山中さん=4日、奄美市の大島高

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町は4日、復興支援で訪れたボランティアらでつくる「南三陸応援団」の初の交流イベントを東京都内の飲食店で開いた。参加者は地元の海産物を楽しみながら、あの日を

「南三陸応援団」集合

都内

あの日を思い、復興願う

振り返り復興への思いを重ねた。

つて復興の現状を報告

した。

震災以降、定期的に

町を訪れている横浜市

の会社員外山瑞さん

(37)は「南三陸の海

援する人が増えると良い」と語った。

町によると、6月末までに延べ14万6千人

身で開発した簡単に着られるセパレート式大島紺の着付けも実演し、「簡単に着られる紺を用意することが次世代への伝承につながる」と語った。

不適切会計問題が深刻化している東芝が、再発防止やガバナンス(企業統治)強化のため、監視組織の新設を検討していることが4

日、分かった。社外取締役も増やし、経営の透明性を高める。9月に開催予定の臨時株主総会で増員議案を提出する方向で調整してお

り。遊ぶ時は外に出てる間に子どもたちに人と接して。いずれ生まれ育った島のすぐさを感じるようになる」

質疑応答で「島にいる間に子どもたちに人と接して。いずれ生まれ育った島のすぐさを感じるようになる」美の魅力は人のつながり。遊ぶ時は外に出てる間に子どもたちに人と接して。いずれ生まれ育った島のすぐさを感じるようになる」と答えた。

東芝、監視組織を新設

法律家の社外取締役増員も

日、分かった。社外取締役も増やし、経営の透明性を高める。9月に開催予定の臨時株主総会で増員議案を提出する方向で調整してお

り。遊ぶ時は外に出てる間に子どもたちに人と接して。いずれ生まれ育った島のすぐさを感じるようになる」

と答えた。

会計問題は、過大に計上した連結営業利益が1500億円規模に拡大。弁護士らによる第三者委員会の調査に加え、再発防止策を打ち出すことで、投資家や取引先の信用回復を急ぎたい方針だ。

新組織は、過大計上がインフラや半導体など大半の主要事業に及んでいる疑いが強いこと

ノン。今度はよむこ達

ハヘコ「南三陸応援団」

東京都内の飲食店で開

り、弁護士など法律専門家の起用を検討す